

## 内水面魚類生息環境調査 ～多摩川上流域および日原川における魚類相モニタリング～

島しょ農林水産総合センターでは、多摩川の本流、支流、奥多摩湖において、魚類の分布状況の変化を把握するため、定期的なモニタリング調査を続けています。今回は、令和5年に実施した多摩川上流域と日原川での調査結果を報告します。

実施機関	振興企画室	事業名	内水面魚類生息環境調査
------	-------	-----	-------------

### 背景・ねらい

多摩川は流域人口約 380 万人の大都市を流れる河川で、特に上流域や支流の日原川は溪流釣り場などとして親しまれています。島しょ農林水産総合センターでは、多摩川の本流、支流、奥多摩湖において、魚類の分布状況の変化を把握するため、定期的なモニタリング調査を続けています。令和5年度は、多摩川上流域と日原川を対象に調査を実施しました。また、調査結果を過去10年程度の結果と比較することで、同流域における魚類相の変化を検討しました。

### 成果の内容・特徴

- ① 令和5年11月21日から28日にかけて、多摩川上流域8地点および日原川3地点において、電気ショッカーと投網を用いて魚類の採集を行いました(図1)。採集した魚類は種類ごとに数を記録し、全長、体重を測定したのち放流しました。
- ② 多摩川上流域では、14種349尾の魚類が採集され、魚種別ではカジカ(107尾、全長50～119mm)が最も多く、次いでウグイ(79尾、全長29～135mm)、タカハヤ(69尾、全長35～112mm)が多くみられました(表1)。サケ科魚類については、ヤマメ(6尾、全長116～186mm)およびニジマス(2尾、全長231～253mm)が5地点で採集されました。日原川では、6種94尾の魚類が採集され、魚種別ではヤマメ(45尾、全長85～226mm)が最も多く、次いでニジマス(20尾、全長184～262mm)、イワナ(15尾、全長134～285mm)が多くみられました。
- ③ 過去10年程度の調査結果と比較すると、多摩川上流域では、平成24年から29年まではウグイが最も多く出現しましたが、令和2年と令和5年ではウグイの占める割合が減少し、カジカが最も多く出現しました(図2)。また、カジカは平成25年から令和5年まで8地点すべての調査地点で確認されました。日原川では、平成20年から令和5年の間の各調査において最も多く出現した魚種(カジカまたはヤマメ)が、調査の度に入れ替わりました(図3)。また、イワナは平成26年から令和5年まで3地点すべての調査地点で確認されました。

### 成果の活用と反映

多摩川上流域では平成24年以降7回の調査で24種、日原川では平成20年以降6回の調査で7種の魚類が確認されました。魚種組成には年変動があるものの、在来種の極端な減少や、新たな移入種の増加はみられず、これらの流域における魚類の生息環境は安定しているものと考えられました。内水面魚類生息環境調査の結果については、河川、湖の環境の保全や復元に活用していくとともに、内水面漁業の活性化を図るため、東京の河川、湖の特徴や魅力を都民の皆様に発信していきます。

(橋爪 伸崇)

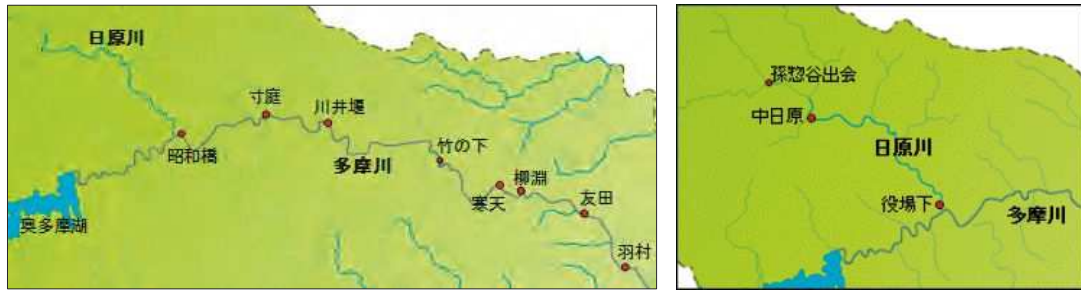


図1 多摩川上流域8地点（左）および日原川3地点（右）の調査位置（赤色丸印）

表1 令和5年における多摩川上流域および日原川の魚種別採集個体数

種名	多摩川上流域												日原川											
	羽村		友田		柳淵		寒天		竹の下		川井堰		寸庭		昭和橋		役場下		中中原		孫惣谷出会			
	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻	調査日	調査時刻		
	11/27	0:00	11/27	0:00	11/22	0:00	11/22	0:00	11/22	0:00	11/21	0:00	11/21	0:00	11/21	0:00	14:10	11/27	11/28	11/28	12:50	12:50		
	10.8		11.6		13.2		11.6		10.8		10.9		11.1		8.3		8.8	8.8	8.0	6.9	6.9	6.9		
	7	20	5	20	0	20	8	20	8	20	8	20	8	20	8	20	8	20	8	20	8	20		
イワナ											1		1		4		2	2	6	1	4	15		
ヤマメ																	3	3	3	4	9	17		
ニジマス			1					1									2	3	17			20		
ウグイ	13		4	26	10		18		2	1					3	2	79	3	2			5		
タカハヤ	1		5		18		13		1	3				22		6	69	2				2		
カワムツ			2														2					0		
オイカワ	4	3	1	2													10					0		
タモロコ	1																1					0		
スゴモロコ	1																1					0		
カマツカ	7		12		2		1										22					0		
シマドジョウ	2		8		2		2		25		1						40					0		
カジカ	4		5		37	3	18	1	19		11	1	5	1	2	107	7					7		
カワヨシノボリ	1				4												5					0		
ヌマチチブ										1							1					0		
スナヤツメ									1								4					0		
合計	4	33	5	64	0	73	3	52	2	48	2	16	2	27	8	10	349	9	33	6	15	10	21	94

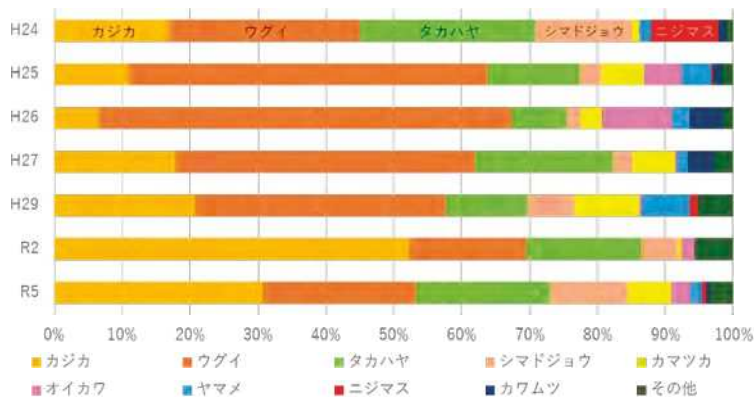


図2 多摩川上流域における平成24年以降の魚種組成



図3 日原川における平成20年以降の魚種組成

※アメマス種群は「イワナ」、シマドジョウ種群は「シマドジョウ」として扱った。